



ごみ減量日本一を目指して～チャレンジ 800～

“初めて” 食べ残しは「もったいない」をテーマとした 学習教材を制作しました

長野県では、「ごみ減量日本一」を目指して、県民1人1日あたりのごみの量を800g以下(平成25年度は847gと全国で少ない方から数え第2位)にするため、市町村とともに取り組んでいます。

この取組みの一環として、清泉女学院大学等と連携し、小学校低学年向けに身近な給食を通じて、ごみの減量について学ぶ学習教材を制作しました。

今回、この教材を活用した学習が、県下で初めて行われます。

- 1 日時** 平成27年11月9日（月）午後12時15分頃から10分程度
- 2 場所** 小川村立小川小学校 デールーム（ランチルーム）
（小川村高府8,850-1）
- 3 その他**
 - ・当日の学習は、2・6年生合同参加により行われます。
 - ・協同制作者である清泉女学院大学山貝専任講師、学生の方も参加します。
 - ・取材については、事前に、資源循環推進課(026-235-7181)までご連絡ください。
 - ・この件について、小川小学校へは、直接、問合せないようお願いいたします。
 - ・授業の一環のため、報道機関以外の方はご遠慮ください。

◆◆◆ 学習教材概要 ◆◆◆

【教材タイトル】 「きゅうしょくだいすき」

電子紙芝居、映像時間約2分30秒

【教材の概要等】 給食を題材に、食の大切さや食べ残しは“もったいない”というメッセージを伝え、年少期からのごみ減量への行動に繋げることをねらう。今後、県内の小学校等に配付予定。



電子紙芝居の一場面（学生制作）

【協同制作者】 清泉女学院大学人間学部現代コミュニケーションコース

山貝ゼミ 山貝征典専任講師、学生5名

長野県学校保健会 栄養教諭・学校栄養職員部会

しあわせ信州創造プラン（長野県総合5か年計画）推進中

環境部資源循環推進課資源化推進係
 （課長）宮村 泰之
 （係長）荒井 孝（担当）増尾 久美
 電話：026-235-7181（直通）
 026-232-0111（代表）内線 2798
 F A X：026-235-7259
 E-mail junkan@pref.nagano.lg.jp

教育委員会事務局保健厚生課学校給食係
 （課長）宮下 朋子
 （係長）中山 雅代（担当）久保田益美
 電話：026-235-7444（直通）
 026-232-0111（代表）内線 4447
 F A X：026-234-5169
 E-mail hokenko@pref.nagano.lg.jp

清泉女学院大学人間学部
 専任講師 山貝征典
 電話 026-295-5665（代表）